



# 平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年2月7日

上場会社名 三菱化学株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 4010 本社所在地 東京都  
 (URL <http://www.m-kagaku.co.jp>)  
 代表者 役職名 取締役社長 富澤 龍一  
 問合せ先責任者 役職名 広報・IR室長 中山 哲也 TEL (03) 6414-3730

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、税金費用の計上基準等、一部簡便な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有

在外子会社等の収益・費用の円貨換算に使用する為替相場につき、決算日の直物為替相場から期中平均の直物為替相場に変更しております。  
 この変更により、従来の方法によった場合に比べて、売上高は4,283百万円少なく、営業利益は180百万円少なく計上されております。

固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号平成15年10月31日）が平成16年3月31日に終了する連結会計年度に係る連結財務諸表から適用できることになったことに伴い、当中間連結会計期間から同会計基準及び同適用指針を適用しております。これにより税金等調整前四半期（当期）純利益は13,914百万円減少しております。  
 なお、減損損失累計額については、改正後の中間連結財務諸表規則に基づき各資産の金額から直接控除しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動 連結 (新規) 4社 (除外) 1社  
 の有無：有 持分法 (新規) 2社 (除外) 8社

## 2. 平成17年3月期 第3四半期の業績概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成17年3月期 第3四半期	1,606,220	13.4	115,538	54.0	115,961	81.5	48,654	65.9
平成16年3月期 第3四半期	1,416,730	-	75,021	-	63,892	-	29,333	-
(参考) 平成16年3月期	1,925,331		98,163		82,613		34,547	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成17年3月期 第3四半期	22	38	22	20
平成16年3月期 第3四半期	13	47	13	27
(参考) 平成16年3月期	15	82	15	61

(注) 当第3四半期の売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
平成17年3月期 第3四半期	2,047,261	440,680	21.5	202	70
平成16年3月期 第3四半期	2,051,963	384,823	18.8	177	00
(参考) 平成16年3月期	2,001,601	397,063	19.8	182	59

### 3. 経営成績(連結)の進捗状況、財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等

#### (1)全般概況

第3四半期までの日本経済は、IT・デジタル関連分野で需給調整の動きがあったものの、米国及び中国を中心とした海外経済の活況を背景に、輸出や設備投資の増加等概ね堅調でありました。しかしながら、原油・ナフサ価格の高止まり及び円高の進行等、当社グループ事業を取り巻く環境は引き続き不安定な状況で推移しております。

この様な状況の中で、当社グループの第3四半期の売上高は1兆6,062億円、営業利益は1,155億円、経常利益は1,160億円となり、当期純利益は487億円となりました。

#### (2)部門別の概況

##### 石化セグメント

石油化学部門の基礎素材であるエチレンの生産量は、98万トンと前年同期同様フル生産でありました。基礎石化製品・化成品・合成繊維原料及び合成樹脂は、ナフサ価格の高止まりによる影響を受けましたが、国内外の旺盛な需要により出荷量が増加し、海外市況も、主として中国の需要を反映して引き続き高水準で推移したことにより全般に堅調でありました。

以上の結果、石化セグメントの売上高は6,817億円(前年同期比1,322億円増(+24.1%))、営業利益は430億円(同333億円増(+343.4%))となりました。

当第3四半期(平成16年10月1日～平成16年12月31日；以下同じ)に石化セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- ・(株)ジャパンエナジー及び鹿島石油(株)との間で、鹿島地区における石油精製事業と石油化学事業との連携の具体策について検討を開始することに合意。(12月)
- ・カプロラクタム事業について、平成17年3月末で販売を止め当社グループ内のナイロン樹脂向けの原料供給に特化することを決定。(12月)
- ・新日鐵化学(株)と、平成17年3月末をもって新日本フェノール社(フェノール)及び新日本ビスフェノール社(ビスフェノールA)における合弁事業を解消することに合意。(12月)

##### 機能化学セグメント

機能性樹脂、食品機能材などは、引き続き順調に推移しました。情報電子関連製品のうち、光ディスクは、販売価格下落の影響を受けたものの、2層DVDなどの新商品の上市等により売上げは増加いたしました。OPCドラムは、販売価格が下落しましたが、出荷は好調でした。炭素事業のうちコークスは、活発な粗鋼生産量を反映して引き続き好調に推移しましたが、カーボンブラックは、原料価格の高止まりの影響を受け厳しい状況で推移しました。肥料は、原料高等の厳しい環境下、高付加価値品の販売など収益確保に努めました。

以上の結果、機能化学セグメントの売上高は3,493億円(前年同期比207億円増(+6.3%))、

営業利益は 309 億円(前年同期同額)となりました。

当第 3 四半期に機能化学セグメントで実施または発生した事項は、以下の通りです。

- ・三菱化学(株)が、次世代超低公害ディーゼルトラックに導入される尿素 SCR システム用高品位尿素水の開発に成功し、日本化成(株)が製造・販売を開始。(12 月)
- ・三菱化学メディア(株)が国内初の大容量 30GB の光ディスク UDO(Ultra Density Optical)ディスクを発売。(12 月)

#### 機能材料セグメント

各種フィルム・複合フィルム・シート製品のうち工業用途向けは半導体・液晶関連産業の好調を背景に、また、包装材向けも新商品の伸長などにより、それぞれ堅調に推移しました。複合材などの建築材料及びアルミナ繊維などの高機能材料は、概ね順調でありました。

以上の結果、機能材料セグメントの売上高は 2,679 億円(前年同期比 197 億円増(+7.9%) )、営業利益は 173 億円(同 60 億円増(+52.3%)) となりました。

当第 3 四半期に機能材料セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- ・三菱樹脂(株)が、ユニット式の密閉式冷却塔「ヒシクーリングタワーP-Ri シリーズ」の販売を開始。(11 月)
- ・三菱化学産資(株)が、単層架橋ポリエチレン管の融着接続を可能とする「エクセル E F 継手」の販売を開始。(12 月)

#### ヘルスケアセグメント

医薬品は、脳保護薬「ラジカット注」や抗血小板剤「アンブラグ」等の販売が伸長したものの、昨年 4 月に実施された薬価基準引下げや OTC(一般医薬品)事業の譲渡などにより売上げが減少いたしました。臨床検査部門は、診療報酬点数改定の影響はありましたが、概ね順調に推移いたしました。

以上の結果、ヘルスケアセグメントの売上高は 2,145 億円(前年同期比 24 億円減(1.1%))、営業利益は 264 億円(同 21 億円減(7.4%)) となりました。

当第 3 四半期にヘルスケアセグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- ・三菱ウェルファーマ(株)が、工場の包装業務及び資材管理・生産物流業務、並びに物流センターの販売物流業務を同社の連結子会社である吉富倉庫(株)に平成 17 年 4 月 1 日をもって営業譲渡することを決定。(吉富倉庫(株)は平成 17 年 4 月 1 日付けで、MP ロジスティック(株)に名称変更予定)(12 月)
- ・三菱ウェルファーマ(株)が、生産・技術部門の最適化を目的として足利工場(栃木県足利市)及び吉富工場(福岡県築上郡吉富町)を平成 17 年 4 月 1 日をもって分離し、同社子会社の MP テクノファーマ(株)に譲渡することを決定。(12 月)

### サービスセグメント

物流部門が新規顧客獲得などにより高稼働で推移したこと及びエンジニアリング部門における受注増加などにより、当期の売上高は 928 億円（前年同期比 193 億円増(+26.3%)）、営業利益は 71 億円（同 25 億円増(+52.7%））となりました。

### コーポレート

当第 3 四半期にコーポレートで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- ・平成 17 年度からの中期経営計画「革進-Phase2 計画」を策定。（12 月）

### (3)財政状態(連結)の変動状況

当第 3 四半期末の総資産は、期末休日及び季節要因による営業債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ 457 億円増加し、2 兆 473 億円となりました。また、有利子負債残高（割引手形含む）は、前連結会計年度末に比べ 685 億円減少し、8,012 億円となりました。引続き、有利子負債の削減を進める予定です。

### 4 . 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日 ～平成 17 年 3 月 31 日）

当第 4 四半期において、医薬事業で季節的要因による売上高減少や研究開発費の増加が見込まれ、石化事業で一部海外市況の悪化も見られますが、当第 3 四半期までの業績は予定を上回るペースで進捗しており、グループ全体として中間決算発表時の業績予想は達成する見込みです。

#### 通期業績予想（平成16年11月11日発表）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	百万円 2,140,000	百万円 124,000	百万円 40,000
(参考)	1株当たり予想当期純利益(通期)	18円 33銭	
	通期連結営業利益	128,000 百万円	

\* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## (1) 連結損益計算書

(単位: 百万円)

	当第3四半期 (平成16.4.1~平成16.12.31)	前年同四半期 (平成15.4.1~平成15.12.31)	増減	前連結会計年度 (平成15.4.1~平成16.3.31)
売上高	1,606,220	1,416,730	189,490	1,925,331
売上原価	1,213,554	1,088,529	125,025	1,455,267
売上総利益	392,666	328,201	64,465	470,064
販売費及び一般管理費	277,128	253,180	23,948	371,901
営業利益	115,538	75,021	40,517	98,163
営業外収益・費用				
受取利息及び受取配当金	3,308	2,790	518	3,932
連結調整勘定償却額	-	1,998	1,998	1,574
持分法による投資利益	7,274	3,959	3,315	4,699
支払利息	8,320	9,656	1,336	13,060
その他の	1,839	10,220	8,381	12,695
(営業外収益・費用合計)	423	11,129	11,552	15,550
経常利益	115,961	63,892	52,069	82,613
特別利益				
固定資産売却益	2,468	3,585	1,117	6,268
制度変更による退職給付引当金取崩益	2,387	4,824	2,437	4,887
投資有価証券売却益	1,503	1,796	293	3,985
営業譲渡益	425	2,494	2,069	2,545
その他の	498	-	498	1,303
(特別利益合計)	7,281	12,699	5,418	18,988
特別損失				
固定資産減損損失	13,914	-	13,914	-
退職給付会計基準変更時差異償却額	6,048	6,320	272	8,341
投資有価証券評価損	1,713	-	1,713	401
固定資産整理損等	1,546	335	1,211	2,497
関係会社整理損	-	4,781	4,781	4,948
早期定年退職一時金	-	2,927	2,927	3,063
固定資産臨時償却	-	-	-	3,190
その他の	1,967	3,383	1,416	8,357
(特別損失合計)	25,188	17,746	7,442	30,797
税金等調整前四半期(当期)純利益	98,054	58,845	39,209	70,804
税金費用	39,239	21,760	17,479	27,482
少数株主利益	10,161	7,752	2,409	8,775
四半期(当期)純利益	48,654	29,333	19,321	34,547

## (2) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期末 (平成16.12.31)	前連結会計 年度末 (平成16.3.31)		当第3四半期末 (平成16.12.31)	前連結会計 年度末 (平成16.3.31)
流動資産	973,466	893,126	流動負債	925,988	923,169
現金及び預金	69,199	57,633	支払手形及び買掛金	332,003	281,633
受取手形及び売掛金	519,926	467,934	短期借入金	325,023	316,015
たな卸資産	288,093	251,762	コマーシャルハ-ル-	27,000	85,000
その他の貸倒引当金	98,930	118,833	1年以内償還社債	29,576	44,478
	2,682	3,036	賞与引当金	13,375	24,267
			その他の引当金	6,805	6,500
			その他	192,206	165,276
固定資産	1,073,795	1,108,475	固定負債	538,154	545,575
(有形固定資産)	(694,456)	(723,265)	社債及び転換社債	238,020	223,791
建物及び構築物	220,810	231,043	長期借入金	173,991	192,212
機械装置及び運搬具	242,220	253,142	退職給付引当金	108,696	108,386
土地	180,270	192,187	その他の引当金	10,476	11,850
建設仮勘定	28,510	22,686	その他	6,971	9,336
その他	22,646	24,207			
(無形固定資産)	(26,870)	(29,804)	負債合計	1,464,142	1,468,744
連結調整勘定	10,567	12,459			
その他	16,303	17,345	少数株主持分	142,439	135,794
(投資その他の資産)	(352,469)	(355,406)	資本金	145,086	145,086
投資有価証券	252,226	246,006	資本剰余金	117,108	116,980
その他	101,712	110,718	利益剰余金	156,210	127,744
貸倒引当金	1,469	1,318	土地再評価差額金	1,901	1,901
			その他有価証券評価差額金	35,890	24,897
			為替換算調整勘定	14,673	18,772
			自己株式	842	773
			資本合計	440,680	397,063
資産合計	2,047,261	2,001,601	負債、少数株主持分及び資本合計	2,047,261	2,001,601

(注) 前年同四半期につきましては、簡便的な方法による要約貸借対照表のため、当期との対比表示を省略しております。

平成17年3月期 第3四半期 参考情報

セグメント別連結売上高及び営業利益

セグメント別連結売上高

(単位:百万円)

	当第3四半期 (平成16.4.1～平成16.12.31)	前年同四半期 (平成15.4.1～平成15.12.31)	増減	前連結会計年度 (平成15.4.1～平成16.3.31)
石化	681,713	549,545	132,168	741,443
機能化学	349,311	328,644	20,667	441,266
機能材料	267,864	248,171	19,693	338,144
ヘルスケア	214,534	216,898	2,364	277,217
サービス	92,798	73,472	19,326	127,261
合計	1,606,220	1,416,730	189,490	1,925,331

セグメント別連結営業利益

(単位:百万円)

	当第3四半期 (平成16.4.1～平成16.12.31)	前年同四半期 (平成15.4.1～平成15.12.31)	増減	前連結会計年度 (平成15.4.1～平成16.3.31)
石化	43,007	9,699	33,308	20,463
機能化学	30,904	30,901	3	39,115
機能材料	17,283	11,347	5,936	15,446
ヘルスケア	26,389	28,503	2,114	29,206
サービス	7,107	4,653	2,454	9,913
コーポレート	9,152	10,082	930	15,980
合計	115,538	75,021	40,517	98,163

(注) 当連結会計年度より、連結子会社1社について、当社グループにおける事業上の位置付けを変更したことに伴い事業内容の実態をより明確に反映させるために、その所属する事業区分を機能化学セグメントからサービスセグメントへ変更しております。この変更により、従来の事業区分によった場合に比べて、売上高が機能化学セグメントで9,206百万円減少、サービスセグメントで9,206百万円増加しております。

なお、営業利益に与える影響は軽微であります。

また変更後の区分に基づき、前年同四半期・前連結会計年度についても数値の組替を行っております。